

事業概要：イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による地域産業の競争力強化事業

申請者	山形県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	332,789千円（71,563千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・本県の強みであるものづくり産業のさらなる活性化を図る ・DXの推進による県内企業の競争力強化を図る ・新たな技術を起点とした人材育成・ビジネス創出を図る ・戦略的なブランドプロモーションにより県産品の認知度向上・販売促進を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ものづくり産業における創業・事業化支援によるイノベーションの創出、県内企業の競争力強化に向けたDX推進、新たなデジタル技術を核とした人材育成・ビジネス創出及び県産品のブランド力を強化する取組みを通して、県内産業の高付加価値化を図り、人口が減っても豊かさを実感できる地域社会を実現することで、次の世代に引き継ぐ価値を持つ地域となることを目指す。 【主な経費】 ○ものづくりスタートアップ支援（補助金等）12,230千円 ○デジタル人材の養成事業の展開（委託料等）14,248千円 ○XR関連産業新興に向けた基盤構築（委託料等）28,276千円 ○県産品のブランド力強化（負担金等）16,809千円 ※経費内訳はR8年度事業費 現状・課題 ○事業所数の減少 ○デジタル人材の不足 ○県産品の認知度不足 → いずれ ・地域経済の停滞 ・県内産業の競争力低下 を招く恐れ 事業の方向性 方向性① 新たな価値を生み出す イノベーションの促進 方向性② 既存のものの価値を 高めるブランディング 事業の展開 1.ものづくり 産業のさらなる 活性化に向けた スタートアップ 支援 2.県内企業 の競争力強化 に向けた DXの推進 3.新たな 技術（XR） を起点とした 人材育成・ ビジネス創出 4.県産品のブランド 力を高める情報発信・ 販売促進活動の展開 目指す姿 県内産業の高付加価値化 ↓ 県民所得の拡大 ↓ 人口が減っても豊かさを実感できる地域社会の実現		

■具体的な交付金の使途及び実施体制

事業内容（設備・備品）		支出方法	支援対象者	山形県		事業推進主体		委託先等		連携市町村
				役割		名称（関係性）	役割	名称（関係性）	委託内容	
本県ものづくり産業の更なる活性化・新たな担い手の創出を図るためのスタートアップ支援										
1	ものづくりスタートアップ加速化支援 ・伴走支援者へのビジネスプランの策定研修の開催 ・伴走支援者への個別メンタリングによるブラッシュアップ ・投資家等を集めたピッチイベントの開催 ・委託期間を通じた、事業者の発掘及び育成 ・伴走支援者以外の「ものづくりスタートアップ」を目指す事業者への個別メンタリング ・展示会（Sushi Tech Tokyo2026等）への出展による県内スタートアップのPR、県外スタートアップの本県への呼び込み	委託料		・全体の進捗管理 ・関係者との連絡調整	（同左）		（委託手続き中） ※県からの委託		・支援対象者の発掘、醸成 ・伴走支援の実施	
		負担金								
	ものづくりスタートアップ成長支援 ・創業3年以内の事業者に対し創業・事業化に要する経費の一部を助成	補助金	県内で創業の意思を有する者・創業して3年以内の者	・支援対象者の発掘 ・補助金交付	（同左）					
		報償費								
		使用料								
	山形県DX推進ラボ（地域DX推進ラボ）を核として、企業に対するDXへの働きかけ及び不足しているデジタル人材の養成事業を展開									
2	デジタルツールの導入促進 ・デジタルツールの操作体験および地元先進企業のDX取組事例紹介等からなるデジタルツールの有用性を学ぶ勉強会の開催	委託料		・事業内容の広報 ・委託業務の遂行状況の監督 ・委託業者からの報告内容の還元（還元先：県内産業支援機関）	（同左）		株式会社メコム（県からの委託）		・事業内容の広報 ・研修会の企画・運営 ・受講企業に対する相談会の開催 ・事業の成果報告書の作成	
	研修やセミナーの実施によるデジタル人材の確保	報償費		・全体の統括業務 ・関係者との調整 ・研修及びセミナーの広報 ・研修及びセミナーの開催						
		旅費（費用弁償）								
		需用費								
		役務費								
		委託料			株式会社Sundays（県からの委託）		企業へのデザイン的発想力のインプット支援			
	使用料									
	デザイン経営を通じたトランスフォーメーション力の強化 ・「デザイン思考」、「デザイン経営」の基礎の習得から新商品や新サービス創出化等に向けたプランシート作成までの伴走支援を実施	委託料		・全体の統括業務 ・関係者との連絡調整 ・資料作成	（同左）					
		需用費								
やまがたAI部への支援	補助金	やまがたAI部運営コンソーシアム	補助金交付	やまがたAI部運営コンソーシアム	県内の高校生を対象とした部活動形式でのAIプログラミング教育の拡充強化					

	事業内容（設備・備品）	支出方法	支援対象者	山形県	事業推進主体		委託先等		連携市町村
				役割	名称（関係性）	役割	名称（関係性）	委託内容	
X Rを起点とした若者への新たなコミュニティの提供、X R技術をビジネスに利活用できる人材の育成及びX R関連産業新興に向けた基盤構築									
3	X Rを手段とした「共創の拠点」の設置・運営 ・本事業運営に関する事務局的機能 ・新規事業創出支援 ・小学校、中学校、高校等への出張体験会の実施 ・X R関連技術を取得する研修会の実施 ・会員証用アバター作成会の運営等	委託料		・全体の進捗管理	(同左)		株式会社山形新聞社	・「ヤマガタリアルメタバース研究所」の運営 ・高校生が最新技術に触れる出張体験会の実施 ・XRイベント・セミナーの実施	
	専門スキル取得プログラムの提供 ・大学が実施する高校生を対象としたデジタル人材を育成する取組みへの助成	補助金	国立大学法人山形大学	・全体の進捗管理	国立大学法人山形大学 （県からの補助により実施）	・スーパーエンジニアプログラミングスクールの実施			
	X R技術を用いての既存企業における新事業展開や高付加価値化につながる実証事業の展開 ・企業との実証実験	補助金	県内中小企業	・全体の進捗管理 ・補助金の公募・交付事務	県内中小企業 （県からの補助により実施）	・XR技術を活用したビジネス実証			
山形県ブランドへの好感・共感の醸成に向けた、県産品ポータルサイトやリアルでの情報発信及び物産展の開催による販売促進									
4	物産展の開催	負担金		・事務局（県観光物産協会）との協働 ・資料作成 ・関係者との連絡・調整	山形県の観光と物産展実行委員会 （県も構成員となり協働で実施）	物産展開催の全体調整、出展事業者との調整等			
		需用費			(同左)				
		役務費							
	県産品の情報発信 ・山形ブランドの価値向上・県産品の認知度向上を図るため県産品ポータルサイトを核とした情報発信	委託料		全体の統括業務 関係者との調整	県及び県産品生産事業者	県産品の情報発信	シー・キャド（株） （県からの委託）	ポータルサイトを中心とした情報発信、効果測定等	
		報償費		・有識者から意見聴取及び業務への反映 ・資料作成	(同左)				
		需用費							
		使用料							
	県産酒の販売促進・消費拡大 ・県産酒ファンの拡大を図るため、首都圏において県産酒の魅力を発信するイベントを開催	委託料		全体の進捗管理	(同左)		山形県酒造組合 （県からの委託）	県産酒の魅力を発信するイベントの開催	
		需用費		資料印刷製本					
	・県内大学生を対象とした県産酒講座の開学に係る経費に対する支援	補助金	山形県酒造組合	関係者との連絡・調整	山形県酒造組合 （県からの補助により実施）	県内大学生を対象とした県産酒講座の開学			
	伝統工芸品等産業の販路開拓 ・販売する伝統工芸品の新製品の作成、新たな販路での販売に係る指導助言	委託料		全体の進捗管理	(同左)		※委託手続き中 （県からの委託）	伝統工芸品等産業事業者への指導・助言	
		需用費		資料印刷製本					
		役務費		通信運搬					